

ってどんなところなの？



福島県内水面 水産試験場

猪苗代町にある淡水魚の研究施設。磐梯山を背にした敷地には、本館のほか、採卵棟、孵化棟、稚魚棟などがあり、さらに温水魚系と冷水魚系の試験池や飼育池が全部で121面あります。

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/naisuimen-shiken/>

参観デーのお知らせ

無料

内水面水産試験場では年に1回「参観デー」を開催しています。試験研究の成果発表の他、魚つかみ大会や試食コーナーなどもありますので、どうぞ遊びに来てください！

●と き…8月20日(土)

昨年の様子

午前9時30分～午後3時



ほくもやってみたいな！

●小さなウグイの群れを

すくってバケツに入れ、屋外の飼育池に放します。



ここで育ったウグイは10月ごろ川や猪苗代湖に放流されます。

バケツひとつに、約7万5千匹もいるんだって！

ミジンコ採り

稚魚のエサになるミジンコを育てている池を見学。水にコヤシを入れて植物プランクトンをつくと、ミジンコが発生します。



見える！

感想

●魚の標本がたくさんあっておどろいた。

●つぶつぶにしか見えなかったミジンコが顕微鏡で見たらはっきり形がわかった。

●ニジマスやイワナやヤマメが思ったより大きかった。

●50年生きているコイの大きさにびっくり。

●会津ユキマスが去年見たときより大きくなっていて感動した。

●顕微鏡で見たミジンコは少し気味が悪かった。

3 採集したサンプルを実験室で観察



●池出しされたウグイの稚魚を顕微鏡で観察してみよう。

うご動いてる！



●ミジンコは動物プランクトン。

とても小さいけれど顕微鏡で

見ると、半透明のカタチや動き方がよくわかるよ。

ニジマスのお腹はどうなってるの？

観察のあとは、いよいよニジマスの解剖です。

内臓をひとつひとつ

説明してもらいました。

うき袋、エラなどのほかに

肝臓や心臓、腎臓、胃など

人間と同じ内臓が

あるんだね。

手術みたい！



「内水面水産試験場」

イワナ、ヤマメ、ニジマスなど、県内の川や湖にはたくさんの種類の魚が棲んでいます。
 今回は、そんな魚たちの調査や研究をしている「福島県内水面水産試験場」を訪問しました。
 「内水面」とは「海面」に対する言葉で河川や湖など、淡水領域のこと。どんな魚に会えるかな。長瀬小学校5年生のみんなといっしょに、見学してみましょう。



猪苗代町立長瀬小学校5年生の皆さんの好奇心です

1 この試験場では どんなことをしているの？

おいしい魚を安定して生産するために
 養殖やバイオテクノロジーの研究、
 飼育技術やウイルス病対策の
 指導などを行っています。
 また、魚の増殖や漁場を
 守るための調査研究も
 しています。

標本がいっぱい!



ブラックバスの駆除

ブラックバスは違法に持ち込まれた北アメリカ生まれの魚。
 繁殖力が強いので、福島県でも内水面漁業への被害や
 生態系への影響が心配されています。
 ブラックバスを駆除して他の魚を
 守るために、試験場ではいろいろな
 対策を研究、実践しています。



ブラックバスは、産んだ卵をオスが守ります。
 そのオスを捕獲するのも、駆除方法のひとつ。
 卵はコイやフナが食べてくれます。

コイヘルペスウイルス(KHV)病の対策

この夏、県内でコイヘルペスウイルスが発生しました。
 試験場では感染した場合の注意や対策について
 指導しています。

※ コイヘルペスウイルスは、人には感染しません。

2 魚を育てる飼育池を 見に行こう!

飼育池には、冷たい水と温かい水の2種類があります。
 冷たい地下水の池にはヤマメやマス、湖から引いた
 温かい水にはコイや
 ウグイ、フナなどが
 飼育されています。

かわいい!

「ワツ大い!」50cmもある
 会津ユキマスにびっくり!
 採卵用の親魚だそうです。



池にいるコイは50歳ぐらい。
 100歳以上という長寿コイもいるらしい!



ウグイの池出し



この日はちょうど
 ウグイの池出しの日。
 卵からふ化したウグイの
 稚魚15万匹を飼育池に
 放す作業が行われます。
 まずは長靴を消毒して
 孵化棟へ。



水槽がいっぱい!